

競技注意事項及び大会規定

1. 本大会は2017年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会規定により実施する。
2. 招集について
 - (1) 招集は全て招集所(100mスタート側)で行う。
 - (2) 招集開始及び完了時刻は、別記競技日程を参照のこと。
 - (3) 招集の手順
 - ① 競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。その際、競技役員にナンバーカード、スパイク、衣類及び競技場内に持ち込む物品等の確認を受けた後、競技場に入る。
 - ② 四種競技については、第1種目のみ招集所で別記競技日程に従い、競技者系の点呼を受けるが、以後の2種目以降の点呼は、混成競技者控え室で混成競技者係から点呼を受ける。なお、トラック競技は、競技開始時刻の20分前まで、フィールド競技は、競技開始時刻の40分前までに集合する。
 - ③ 代理による招集の確認は原則認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者は、1種目の招集開始時刻までに、本人もしくは代理人が、あらかじめその旨をホームページからダウンロードした「2種目同時出場届用紙」(招集所にも用意する)に記入し、招集所(競技者係)に提出し、指示に従う。
 - ④ 招集時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとみなし処理する。
 - ⑤ 出場種目を欠場する場合には、招集開始までに欠場届を提出する。用紙はホームページからダウンロードして使用すること。(招集所にも用意する)
3. 競技について
 - (1) 走路順、試技順はプログラム記載順とする。
 - (2) トラック競技は予選の順位、タイムにより次の者が決勝に進出する。

100m, 200m, 400m, 800m, 100mH, 110mH	記録上位8名
1500m	各組の3位と記録の上位3名

男子3000mはタイムにより順位を決定する。
 - (3) 短距離走では安全のために、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走ること。
 - (4) リレーのオーダー用紙の提出は、予選については7:30~8:00までに競技者係に提出し、決勝については招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。用紙はホームページからダウンロードして使用すること。(招集所にも用意しておく)招集は、上記の時刻に従って招集場所で行う。
 - (5) 走幅跳は、A・B二つのピットを使用する場合もある。
 - (6) 棒高跳、走高跳のバーをかけての公式練習は2回までとする。
 - (7) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持・使用することは禁じられている。(競技規則144条)
 - (8) スパイクピンは全天候用で、長さは9mm以内(走高跳12mm以内)とし、スパイクは先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。(競技規則143条)
 - (9) 1回目から不正スタートした競技者は失格とする。ただし、四種競技においては、2回目以降に不正スタートを行った競技者は失格とする。
4. 競技場への入退場について
 - (1) 競技場への入退場は係員の指示に従って整然と行う。なお、本部前の通行は禁止する。
 - (2) 競技者以外はトラック、フィールドに立ち入らないこと。
 - (3) 競技終了後は競技場外へ素早く移動すること。
5. ナンバーカードについて
ナンバーカードは、胸、背部につけること。なお、跳躍種目(四種競技の走高跳を含む)の競技者は、背部または胸部のみでもよい。腰ナンバーカードは、競技終了後フィニッシュ地点で回収する。

6. 予選通過記録について

フィールド競技の予選通過記録・計測ラインは次の通りとする。決勝進出者は、これを越えたものとする。

(天候など特別な状況が生じた場合、フィールド審判長の判断で変更することもある。)

(男子) 走幅跳 5m90 (計測ライン 5m40) 砲丸投 10m50 (計測ライン 9m00)

(女子) 走幅跳 4m90 (計測ライン 4m40) 砲丸投 10m50 (計測ライン 9m00)

7. 棒高跳、走高跳のバーの上げ方について

棒高跳、走高跳のバーの上げ方は、下記によるものとする。

(天候など特別な状況が生じた場合、跳躍審判長の判断で変更することもある。)

優勝決定のためのバーの上げ下げは棒高跳 5 cm、走高跳 2 cmとする。

(男子)	1m50	－	1m55	－	1m60	－	1m65	－	1m70	－	1m73	－	1m76	以後3cm
(女子)	1m30	－	1m35	－	1m40	－	1m45	－	1m48	－	1m51	－	1m54	以後3cm
棒高跳	2m20	－	2m40	－	2m60	－	2m80	－	3m00	－	3m10	－	3m20	以後10cm
男子四種	1m40	－	1m45	－	1m50	－	1m55	－	1m60	－	1m63	－	1m66	以後3cm
女子四種	1m20	－	1m25	－	1m30	－	1m35	－	1m40	－	1m43	－	1m46	以後3cm

8. 抗議について

抗議は、競技規則第146条に定められた時間(大型映像表示時刻を基準とする)内に、競技者自身または代理人が、同一日に次のラウンドがある場合は15分以内に、それ以外は30分以内に本部の担当総務員に口頭で申し出る。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ預託金(1万円)を添え、上記同様の定められた時間内に本部に申し出ること。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当総務員を通じて伝える。

注：抗議があった場合、必ず、関係校の顧問に連絡を行う。

競技者自身が抗議を申し出る場合、役員係りを通して関係部署へ連絡するものとする。

9. 用器具について

(1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。

(2) 練習用としても、個人の用器具を競技場内へ持ち込んではならない。

10. 表彰について

(1) 上位3位までの競技者には賞状を授与する。

(2) 3位までに入賞した競技者は、表彰を行うので、係員の誘導によって競技終了後ただちに表彰者控え場所に行って待機すること。

(3) 表彰は、準備ができ次第おこなうものとする。ただし、競技規則149条9に従って、表彰後であっても競技の結果を再考する場合がある。

(4) 他種目と重なる場合は、代理を出すこと。

11. その他

(1) 競技場をよごさないようにすること。特に空き缶類、弁当がらの片づけは各校で責任を持って行うこと。

(2) 各自の持ち物の管理には万全を期すこと。

(3) 本部前は通行禁止とする。

(4) 応援はスタンドで行い、競技場へは入らないこと。メインスタンドでの一斉応援は行わないこと。

(5) 掲揚塔にかからないように応援横断幕を張ること。

(6) 競技者の事故等に対しては、応急処置以外の一切の責任は負いません。

(7) 本大会は第44回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録突破指定大会とする。